

4月5日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒の原因となるアレキサンドリウム属の出現が4地点で確認されました。
- ・魚毒性を示す有害プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・ユーカンピアの出現が確認されました。
- ・その他の小型珪藻類は低密度でした。

表：2023年4月5日 プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	アレキサンドリウム属	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ユーカンピア
千振	0	<u>0.2</u>	0.0	0.0	0.0	4.5
	10	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	5.25
妙見	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	3.65
KA1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
KA2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
KA3	0	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
KA4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
KA5	0	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
KA6	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
K1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
K2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	10	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	0
T3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0
屋島湾	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0

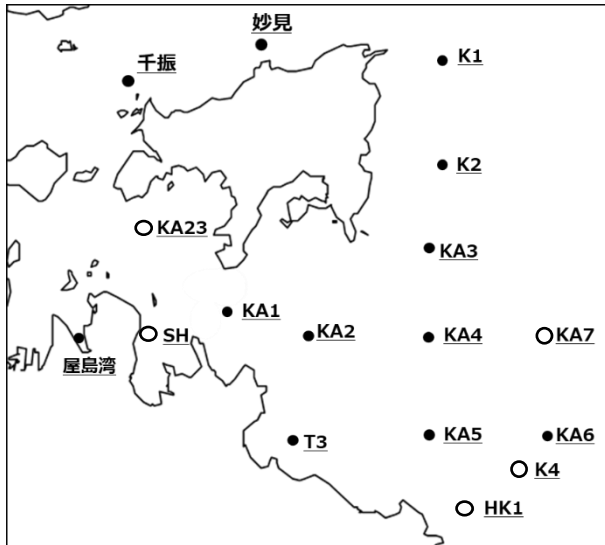
* 試水は200mLを10mLに濃縮して、そのうち1mL中のプランクトンを計数しています(20倍濃縮)。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



* 貝毒プランクトン調査は合計 10 定点 (KA1~6、K1、2、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
At complex (旧) <i>A. tamarense</i> (旧称)アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
At complex(旧) <i>A. catenella</i> (旧称)アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL